

## 第6回

# 「終活」セミナー 【お寺とZoom】

主催：真宗大谷派光明寺



「終活」とは、死にゆくための準備、ということではないと思っています。  
やがて終わりを迎えるであろうこの私の人生に向き合い、心配なことを相談・整理しつつ、今のいのちを安心して生きて往(ゆ)くための活動です。

元気に過ごしている今のうちから、少しずつ確認し、整理をして、大切な一日一日を安心して生きて行きましょう。

そのためには、どのようなことを準備すればよいのでしょうか。

お寺という場所で、ご一緒に考えてみませんか？

6回目となる今回の目玉は、「物語を紡ぎ、伝え、受けとる ～遺贈寄付というつながり～」というテーマで、集活ラボ所長の星野哲(ほしのさとし)さんよりお話しいただきます。

星野さんは、著書『遺贈寄付 最後のお金の活かし方』で、このようにおっしゃいます。

最後のお金の使い方に思いをめぐらすことは、自分の歩んできた人生を肯定することにつながるだろう。

自分がいなくなった後も、自分の思いが社会で生きる。次世代になにかを残す。

ちょっと想像してみしてほしい。それは素晴らしいことではないだろうか。

大切な人に財産を遺すことは大事なことです。自分の人生の物語を、後を生きる人に伝えることの素晴らしさを感じました。楽しみにしていただきたいと思います。

「仏教の終活」では、やがて死にゆくこのいのちを、どう生きて往くのか。何をよりどころに生きて往くのか、ということをお話ししたいと思っています。

**参加費は無料**です。どなたでもご参加いただけますので、ぜひ、この機会に「終活」について考えてみませんか？

今回はお寺での参加と「Zoom」との併催となります。お寺に来て大丈夫です。

参加を希望される方は、裏面をご参考に、お寺へご連絡ください。

日時：2020年8月8日(土) 14時～16時

主催：真宗大谷派 光明寺(江東区千田 9-7 TEL:03-3644-3043)

詳しくは、裏面をご覧ください

# 一日程

**14時**            **開会 住職挨拶**

**14時 5分**       **セミナー①**  
                  **「仏教の終活」**

**光明寺住職 小林尚樹**



**14時30分**       **セミナー②**  
                  **「物語を紡ぎ、伝え、受けとる**

**～遺贈寄付というつながり～**

**集活ラボ所長 星野哲(さとし)さん**

## 星野哲さんプロフィール

ライター（主なテーマは人生のエンディングにかかわる分野全般、寺院関連、居場所など）であり、立教大学社会デザイン研究所研究員（人生のエンディングを社会でどう支えるかがテーマ）。元朝日新聞記者（終活関連全般、ライフエンディングに関する分野の取材）。著書に、『遺贈寄付 最期のお金の活かし方』（幻冬舎）、『「定年後」はお寺が居場所』（集英社新書）、『終活難民 あなたは誰に送ってもらえますか』（平凡社新書）ほか。

**15時30分**       **質疑応答というコミュニケーション**

**16時**            **閉会**

**① お寺での参加ご希望の方（スクリーンに映し出された映像を視聴します）**

お電話か FAX、またはメールでお申し込み下さい。

電話：03-3644-3043    FAX:03-3644-3075

**②「Zoom」でのご参加を希望の方(ご自宅でインターネットにより視聴します)**

Facebook のメッセージまたはメールにてお申し込みください。

Mail : koumyouji@koumyouji-fukagawa.or.jp

開催日までに、「Zoom」ミーティンググループの URL 及びミーティング ID、パスワードをお送りいたします。